

# World Tourism Update

Bimonthly Newsletter of Tourism Education & Research

WTU No.5 / 2014.02

## UNWTO, WTTC –2 機関を中心とした観光教育、研究に関わる世界の情報–

### **Investour 2014-Mobilizing Investment and partnership for tourism development in Africa**



アフリカ観光の発展に向け、財政・投資の促進や技術の伝播を目的とした、第5回 Tourism Investment and Business Forum of Africa (Investour)が2014年1月23日に開催された。このフォーラムは、マドリードで開催される International Tourism Fair (FITUR)の期間内に行われ、アフリカ観光の代表者と出資者に直接的な話し合いの場を提供している。

<http://media.unwto.org/press-release/2013-12-09/investour-2014-mobilizing-investment-and-partnerships-tourism-development-a>

[http://www.casafirafrica.es/en/agenda\\_europa\\_africa.jsp?PROID=750522](http://www.casafirafrica.es/en/agenda_europa_africa.jsp?PROID=750522)

### **ASEAN countries could win up to 10 million new visitors by easing visa procedures**



UNWTO と WTTC は、ASEAN 諸国におけるビザ申請手続きの緩和により、2016年までに観光客が600~1000万人増加するとの予測を ASEAN Tourism Forum(ATF)2014において発表した。この観光客数の増加に起因する経済効果は70~120億米ドル、さらに求人数の増加は33.3~65.4万人規模であると試算されている。WTTCのDavid Scowsill会長は、「より自由な旅行を促進させることはWTTCにとっても優先すべき重要な戦略である。ASEAN 諸国は旅行者のより良い経験のために既に連携しているが、この報告が示すように観光客数の増加のためにすべきことはまだ残っており、それにより、更なる経済的な利益が得られるだろう。」と述べている。

ここ数十年の間に観光促進のために多様な取り組みが世界中で進められてきたが、ビザ申請手続きの改善におけるICT(情報通信技術)の活用については発展の可能性が残されている。ビザ取得に関する情報提供体制や現行の取得方法の改善、また観光旅行を促進するための処遇の差別化、eVISAの制度化やビザ取得に関する地域協定の締結などといった方策により、今後もビザ申請手続きの緩和に向けた動きは加速していくと考えられる。

<http://www.wttc.org/news-media/news-archive/2014/asean-countries-could-win-10-million-new-visitors-easing-visa-pr/>

## Conferences, Seminars –世界各地の主な学会(CFP情報)、セミナー–

### ●2014/5/1-3 ICBT2014 (Global International Conference on Business Tourism and Sciences) , Boston, USA



概要：本学会の目的は、ビジネス、観光、交通、科学技術、教育等に関心を持つ研究者に研究や知見、発見について表明し、さらに研究者相互の交流を深める機会を提供することにある。

CFP：発表については既に切済 <http://www.ichtstoronto.com/14115963/boston>

### ●2014/5/21 - 22 2014 International Conference on Hospitality & Tourism Management, Paris, France



概要：本学会の目的は、研究者、科学者、技術者、学生が、ホスピタリティと観光マネジメントに関する新たな考えや研究結果を交換、共有し、実践上の課題及びその解決法について議論することである。

CFP：発表については既に切済 <http://www.ichtm.org/>

## ●2014/6/2 - 4 TOURAVEL'14 (Tourism and Travel Studies Conference) , Istanbul, Turkey

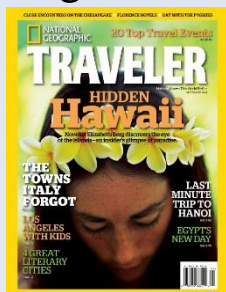


概要：本学会では、様々な学問分野の研究者が、多角的な視点から現代社会における観光や旅行について議論する場を提供する。

CFP：発表要旨の〆切は 2/28（ペーパーの〆切は 5/2）

<http://www.touravelconference.org/>

## Magazine —世界で発行されている観光雑誌を紹介—



### National Geographic Traveler

1984年に創刊され、約70万人が購読する世界で最も有名なトラベルマガジンの一つ。一流の写真家が撮影した洗練された写真と、物語性のある記事で読者を魅了している。「Nobody knows this world better（誰も世界をよく知らない）」をテーマに、あらゆる流行にとらわれない、地域の文化や生活に注目した、本物の経験を提供する。

<http://travel.nationalgeographic.com/travel/traveler-magazine/>

## オンラインアクセス可能なジャーナル (\*Limited access)

和歌山大学では、オンラインアクセス可能な海外のジャーナルを読むことが出来るのをご存知でしたか？

WTU No.1でご紹介した7種類に含め、新たに5種類のジャーナルが閲覧できます。是非アクセスしてみてください。

- ★ Tourism Geographies  
<http://www.tandfonline.com/action/showMostReadArticles?journalCode=rtxg20#.UjERqNLIZHQ>
- ★ International Journal of Tourism Research [http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1002/\(ISSN\)1522-1970](http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1002/(ISSN)1522-1970)
- ★ Tourism & Hospitality Research <http://thr.sagepub.com/>
- ★ Journal of Vacation Marketing <http://jvm.sagepub.com/>
- ★ Journal of Hospitality & Tourism Research <http://jht.sagepub.com/>

## Topics —コラムツーリズムに関する世界のニュース—

院生、教職員からも受け付け中！

### ★ 「着地型旅行活性化会議」が和歌山市で開催されました。



販路の開拓や情報共有化を目的とした「着地型旅行活性化会議」が2月10日、和歌山市で開かれた。会議では、着地型旅行に取り組む旅行会社、大学研究機関、まちづくり関連の組織を対象に、着地型旅行の多様性をテーマにディスカッションなどが実施された。また、開催日の翌日には、一般社団法人全国旅行業協会(ANTA)主催の国内観光活性化フォーラムと全旅主催の地旅博覧会が同じく和歌山市で開催された。

[http://www.anta.or.jp/10th\\_forum/](http://www.anta.or.jp/10th_forum/)

### ★ 「宇宙観光時代」到来へ！宇宙旅行専門会社が設立されました。(2014.1.6.クラブツーリズム株式会社)



クラブツーリズム(小山佳延社長)は1月6日、民間宇宙旅行専門の旅行子会社「クラブツーリズム・スペースツアーズ」を設立した。クラブツーリズムは、これまでイギリスのヴァージン・ギャラクティック社の有人弾道宇宙飛行を公式代理店として国内向けに販売しており、新会社は同業務を引き継ぎ、宇宙旅行を専門にした事業展開を行う。アメリカでは民間宇宙旅行用の宇宙船や宇宙港開発が進み、ヴァージン・ギャラクティック社も今年中の商業運航の開始を見込んでいることから、民間宇宙旅行時代の到来を見据えて会社設立を決定した。

<http://www.club-tourism.co.jp/press/2014/0106.pdf>

## ★ 2013年のグーグル検索キーワード（日本の旅行関連）上位が発表されました。



グーグルは先ごろ、2013年の検索キーワード（日本の旅行関連）上位を発表した。海外から日本の観光地やイベントの検索では富士山、青木が原、東京ディズニーランドがトップ3。また、和食に関する検索も多く、寿司、枝豆、ラーメンがトップ3だった。グーグルは、和食への関心の高まりについて、「和食が2013年12月にユネスコ無形文化遺産に登録され、今年は和食の注目度が高まった年となりました。（中略）また意外なところでは、1位の寿司に次いで「枝豆」が2位にランクインしました。低カロリーな健康食品として注目を集めているようです。」とコメントしている。

<http://adwords-ja.blogspot.jp/2013/12/travel-search-trend-2013.html>

## ★ 外国人旅行者の買い物、10月から全品目免税に。（2014.12.14. 観光庁）



訪日外国人旅行者のショッピングに関し、消費税が免除となる対象が2014年10月から全品目に拡大される。昨年12月24日に決定された政府の税制改正大綱に盛り込まれた。現行では家電製品や装飾品などに限られていた免税対象が、税制改正後は食品・飲料類、化粧品などに拡大される。観光庁は、訪日外国人による地域の特産品などの消費促進を目指し、地方に免税店を増やす施策を展開する。また、外国人旅行者から「免税店がどこにあるか分からない」といった指摘もあることから、免税店の統一したシンボルマークを制定。制度改正の内容とともに海外にPRし、免税店の認知度向上につなげていく。<http://www.mlit.go.jp/common/001022091.pdf>

## ★ JNTO が外国人旅行者向け行祭事検索サイトを公開



JNTO が外国人旅行者向けお得情報&行祭事検索サイト (Special deals and events in Japan) を公開した。サイトでは、行祭事を月ごとに分けて紹介されており、それぞれ詳細についても情報を得ることができる。

[http://www.jnto.go.jp/special\\_events/eng/index.php?month=all&season=4](http://www.jnto.go.jp/special_events/eng/index.php?month=all&season=4)

## ★ Japan Photo Contest 2013-2014



現在、JNTOによる外国人目線で日本の魅力を伝えるフォトコンテスト「WOW! Japan Campaign」が開催されている。キャンペーンWEBサイトはFacebookと連動しており、訪日時に撮影した写真の投稿（「オタク」、「ファッション」、「食」、「伝統」、「自然」、「ユニーク」の6つのテーマ）や、他のユーザー写真へのコメントにより、ポイント（WOW!マイル）を獲得。獲得したポイント数に応じて、日本の魅力を体験できるプログラムをプレゼントするというものだ。外国人観光客の視点から撮影した写真は、普段私達には気づかない魅力がたくさん詰まっている。日本の新たな一面を発見することができそうである。

<http://www.japan-photocontest.jp/en>

## ★ PATA が若者の旅行動向調査を実施中！



昨年和歌山大学も一員となったPATA (the Pacific Asia Travel Association) は現在、若者は旅行する際に目的地や手段、内容等をどのように決定するのかを明らかにすることを目的に若者の旅行動向調査を実施している。この調査は、日本や韓国、中国、カンボジアなど16の国と地域の若者を対象にオンラインで実施されており、調査結果をまとめた報告書が4月に発刊される予定。なお、アンケート協力者には抽選でマレーシアへの旅やバンコクのホテル宿泊券がプレゼントされる。是非アンケートにご協力をお願いしたい。

リンク<<http://www.pata.org/press/pata-launches-survey-on-young-asian-travellers>>

和歌山大学 観光学部 観光教育研究センター  
Location: 観光学部研究棟 208  
Contact us: [tourism-er@center.wakayama-u.ac.jp](mailto:tourism-er@center.wakayama-u.ac.jp)  
<http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/tourism-er.html>